



太平洋岸自転車道

千葉県 神奈川県

太平洋岸自転車道ホームページ

ホームページでは、google マップによるルート案内や地域情報リンク等を公開。



太平洋岸自転車道 検索

- 凡例
- 太平洋岸自転車道
 - フェリー
 - ゲートウェイ
 - 空港
 - サイクリステーション
 - 新幹線
 - サイクリストに優しい宿泊施設
 - 観光資源

千葉県



関東最東端の犬吠埼。山頂や離島を除き日本で一番早い日の出を見られる。

B.B.BASE BOSO BICYCLE BASE



自転車専用のラックが設置されたサイクリストにやさしい電車。房総の旅の新しいカタチ。(要予約)

房総半島を満喫できるサイクリングのモデルコースの紹介もあり。くわしくは、ホームページをごらんください。



千葉県の施設情報

● ゲートウェイ		● サイクリステーション	
No.	施設名	No.	施設名
1	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	1	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)
2	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	2	地球の丸く見える丘展望館
3	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	3	湘南ふれあい広場
4	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	4	鎌倉海岸公園
5	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	5	道の駅「オライはすめま」
6	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	6	道の駅「九十九里」
7	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	7	釣ヶ崎海岸
8	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	8	道の駅「白浜野島崎」
9	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	9	道の駅「白浜野島崎」
10	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	10	道の駅「白浜野島崎」
11	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	11	道の駅「白浜野島崎」
12	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	12	道の駅「白浜野島崎」
13	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	13	道の駅「白浜野島崎」
14	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	14	道の駅「白浜野島崎」
15	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	15	道の駅「白浜野島崎」
16	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	16	道の駅「白浜野島崎」
17	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	17	道の駅「白浜野島崎」
18	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	18	道の駅「白浜野島崎」
19	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	19	道の駅「白浜野島崎」
20	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	20	道の駅「白浜野島崎」
21	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	21	道の駅「白浜野島崎」
22	鎌倉駅 (鎌倉市観光協会)	22	道の駅「白浜野島崎」

神奈川県



鎌倉稲村ヶ崎から江の島に至る区間で江の島と富士山を同時に眺めながら湘南海岸を走ることができる。

神奈川県の施設情報

● ゲートウェイ	
No.	施設名
1	柳島スポーツ公園

● サイクリストに優しい宿泊施設	
No.	施設名
1	サンポートみさき
2	柳島キャンプ場

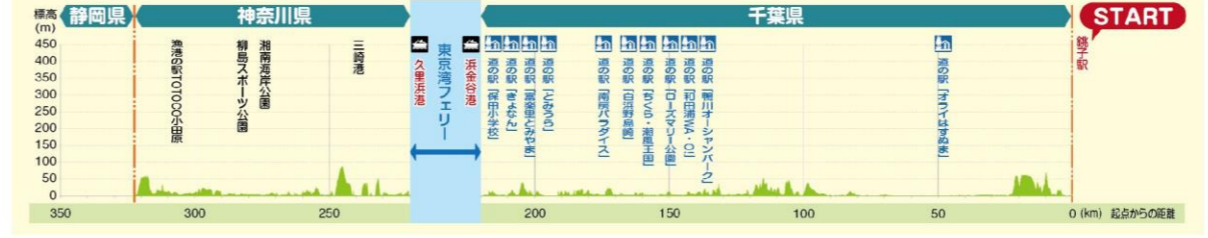
● サイクリステーション	
No.	施設名
1	横浜新久里浜地区
2	うらりマルシェ (三原町)
3	道子海岸駐車場
4	湘南海岸公園
5	辻堂海岸公園
6	柳島スポーツ公園
7	大磯港
8	大磯海岸公園
9	漁港の駅 TOTOCO小田原

フェリー情報

東京湾フェリー 所要時間 約40分

金谷港 (千葉県) ~ 久里浜港 (神奈川県)

自転車は、特殊手荷物金として乗船することができます。くわしくは、ホームページをごらんください。



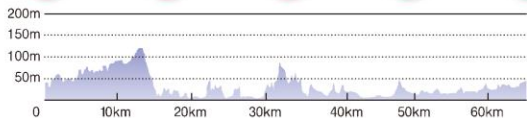
中房 総 エリア **中級コース**

② 海と森林のパノラマコース

丘陵地帯と太平洋沿岸を走りながら、ご当地グルメ勝浦タンタンメン、御宿の月の沙漠、岩船地蔵尊、一宮海岸など、食と景観が楽しめるコースです。ムーン列車が走るいすみ鉄道沿いを抜け、江戸時代のたたずまいが残る大多喜城周辺では城下町の情緒が味わえます。



コースの説明



スタート・ゴール
スタート・ゴール地点ともに「道の駅 たけゆらの里おおたき」です。勝浦を抜けるまではトイレが少ないので注意してください。

危険箇所
勝浦市内や御宿海岸の路肩が狭い箇所では歩行者に注意しましょう。国道128号線は車の交通量が増えるので注意しましょう。

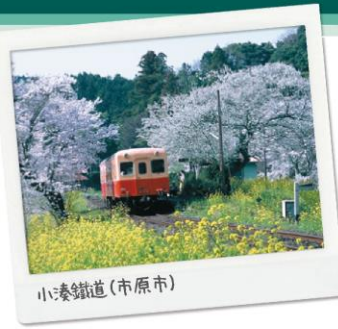
ポイント・見所
春はいすみ鉄道沿いの菜の花と桜が見事で、海岸線を通る道では潮風を感じる走りが楽しめます。岩船地蔵尊は太平洋を臨む絶景ポイントです。童謡「月の沙漠」で有名な御宿を通り、勝浦周辺ではご当地グルメ「勝浦タンタンメン」、スタート・ゴール地点の「道の駅 たけゆらの里おおたき」ではソフトクリームがおすすめです。



※駐車場のご利用は、施設の指示に従ってください。ゴミは持ち帰りましょう。

1 サイクルトレインコース

関東近郊では珍しいサイクルトレイン(小湊鐵道)を利用するコースです。サイクルトレインで房総中央部に位置する丘陵地帯まで移動するため、走行コースは比較的下りが基調になり、走りやすいコースとなっています。



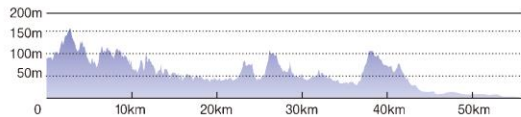
小湊鐵道(市原市)



コースの説明

走行距離 **55.0km**
 想定所要時間 **約3時間40分**
 最大標高差 **155m**

- 1 小湊鐵道上総中野駅 (約 7.3 km)
- 2 小湊鐵道養老溪谷駅 (約 12.1 km)
- 3 高滝ダム記念館 (約 2.5 km)
- 4 市原湖畔美術館 (約 2.6 km)
- 5 市原鶴舞バスターミナル (約 22.6 km)
- 6 道の駅 あずの里いちほら (約 7.9 km)
- 7 小湊鐵道五井駅



スタート・ゴール
 スタートの上総中野駅からはアップダウンが続く、「道の駅 あずの里いちほら」からゴールの五井駅までは平坦道です。

危険箇所
 高滝湖を過ぎるとT字路にぶつかり、交通量の多い国道297号線と合流するので車などに注意して走行しましょう。

ポイント・見所
 養老溪谷の自然を抜けて向かう国指定重要文化財・笠森観音は、岩山の観音堂が圧巻です。里見駅では第一・第三土日に直売所が開設され、休憩ポイントにも最適です。うくいずラインから県道13号線に出てからの休憩は、サイクルステーション「道の駅 あずの里いちほら」、地場野菜やパンが人気です。



※駐車場のご利用は、施設の指示に従ってください。ゴミは持ち帰りましょう。

表 2.3.1 小湊鐵道 概要一覧 (当面の間は運行を中止)

項目	
利用区間	五井駅 (7:03 発) ~ ^{かずさなかの} 上総中野駅間 (16:33 発)
利用日	土曜日、日曜日、祝祭日
持ち込み料金	無料

出典：小湊鐵道 HP

2.3.2 主要観光施設

御宿町の主要観光施設として、「令和元年 千葉県観光入込調査報告書（千葉県商工労働部観光企画課）」に記載されている入り込み客数上位箇所（5箇所）のうち、祭事は施設ではないこと、ゴルフ場へ自転車でアクセスすることは稀なため、これらを除いた施設を抽出し、下表に整理している。

表 2.3.2 入り込み客数上位箇所 施設一覧

市町	中分類	小分類	名称	令和元年入込数 (万人)
御宿町	スポーツ・レクリエーション	海水浴場	御宿中央海水浴場	3
	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション施設	御宿ウォーターパーク	2
	歴史・文化	博物館	月の沙漠記念館	2
	スポーツ・レクリエーション	その他スポーツ・レクリエーション	サーフィン（浜・中央・岩和田）	2

2.3.3 サイクルトレイン

サイクルトレインとは、自転車を解体せずに鉄道車両に持ち込むことが出来るサービスであり、夷隅地域では JR 東日本 (B. B. BASE) と小湊鉄道 (当面の間は運行を中止) で実施されている。

(1) B. B. BASE の概要

2018 年 1 月から JR 東日本にて「B. B. BASE」として都内 (両国駅) から温暖な気候で海外沿いや山沿いのサイクリングを楽しめる房総へのアクセスを可能としている。

1) コース

B. B. BASE は両国駅からスタートする。各コースと運行頻度について下記に示す。夷隅地域へアクセス可能なのは外房コースである。なお両国駅は B. B. BASE バイシクルステーションも併設しており、自転車のレンタルも行っているため、自転車を持っていない人でもサイクリングを行うことが可能である。

表 2.3.3 運行コース一覧

コース名	区間	運行頻度
内房コース	両国駅～和田浦駅間 館山駅～両国駅間	1 か月おきに 2 回程度
外房コース	両国駅～安房鴨川駅間	毎月 1 回程度
佐原・鹿島コース	両国駅～鹿島神宮駅間	毎月 2 回程度
銚子コース	両国駅～銚子駅間	毎月 2 回程度



図 2.3.2 B. B. BASE の運行コース

出典 : B. B. BASE (JR 東日本) HP

2) 車両設備

B. B. BASE の車両は、自転車を置いたら車内スペースで座って移動することが可能である。床も滑りにくいゴム床なので車内の移動も安心して行え、コンセントも整備されているためモバイル機器や自転車ライトの充電等も行えるなどサイクリストにとって必要な設備が設置されている。

3) B. B. BASE 協力施設

B. B. BASE で行く房総のサイクリングをサポートする協力施設がある。B. B. BASE を申し込んだ際にクーポンが付与されたり、特典が受けられる店舗もある。また B. B. BASE サイクルステーション（サイト上はエイドステーションと標記されているが、本計画では太平洋岸自転車道と統一を図るためサイクルステーションと呼ぶこととする。）として、トイレの利用、サイクルラックがある等の施設をサイト上で確認できる。なお、「ナショナルサイクルルート制度（国道交通省 自転車活用推進本部）」においてもサイクルステーションに対する評価項目として、トイレ利用など下記の9項目で評価している。

【必要な機能】

- ① トイレが利用できること
- ② 空気入れの貸出しをしていること
- ③ 水分補給（自動販売機・飲料水の提供）が可能であること
- ④ 休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子）があること
- ⑤ サイクルラックが設置されていること
- ⑥ 必要な情報（ルートマップ、宿泊施設、休憩施設、見所、食事、緊急サポート）が入手可能なこと

【推奨する機能】

- ⑦ 物品販売（チューブ、携行食、モバイルバッテリー等）がされていること
- ⑧ 工具等の貸出しをしていること
- ⑨ Wi-Fi の提供をしていること

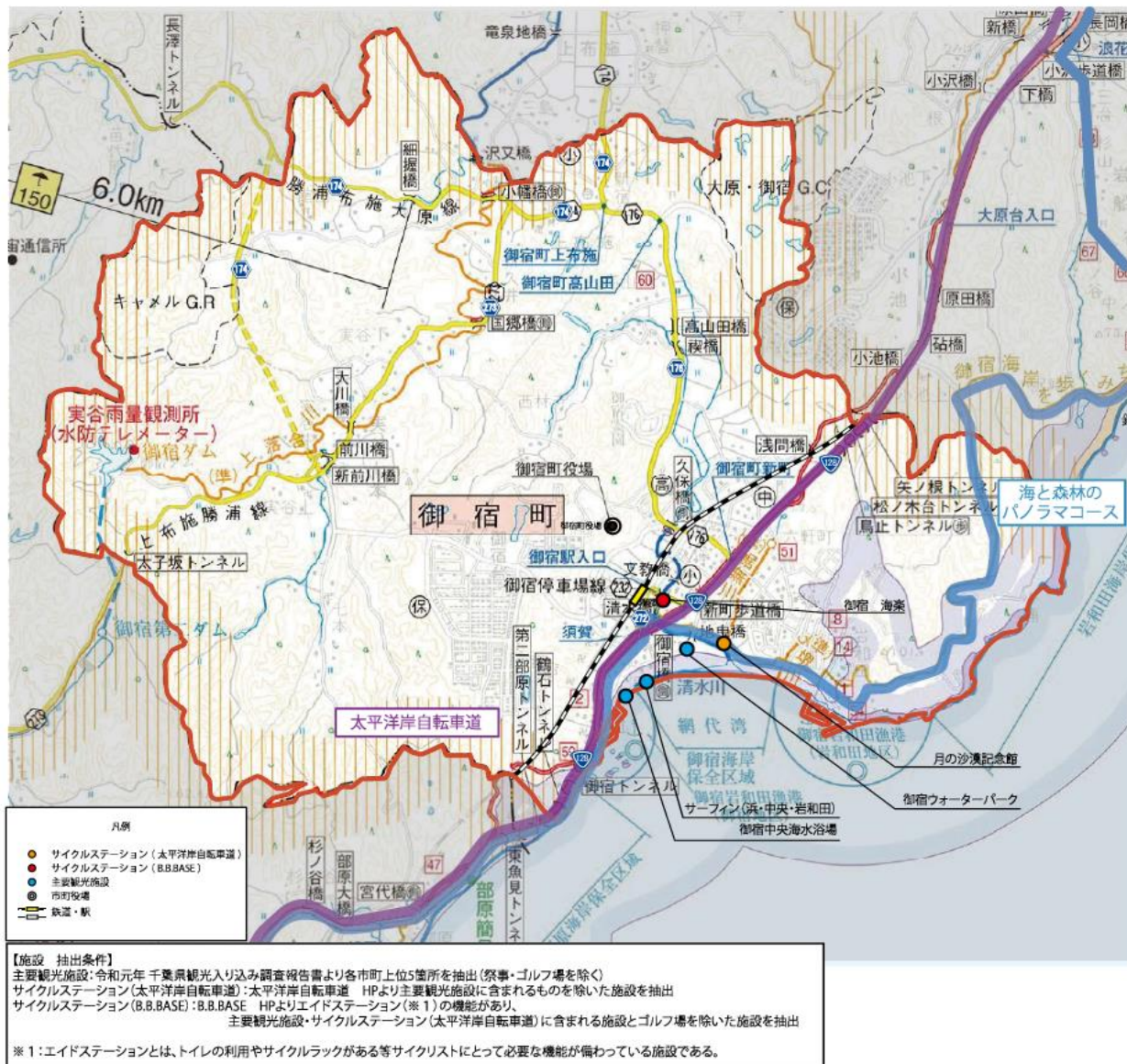
上記の評価項目と B. B. BASE サイクルステーションに記載のある施設情報を合わせて該当する施設一覧を下記に示す。なお、③、⑥、⑦、⑨については該当する施設がないため除いた。

表 2.3.4 B. B. BASE サイクルステーション（2023年3月10日公開データより）

	施設名	住所	必要機能				推奨機能
			トイレ	空気入れ貸出	休憩スペース	サイクルラック	工具貸出
御宿町	御宿 海楽	夷隅郡御宿町新町 539	○	○	○	○	

2.3.4 サイクリングロードと主要観光施設等との関係

前項までで整理したサイクリングロード、主要観光施設とサイクルステーションを地図上で整理した。



第3章 基本方針

3.1 目標

前章の自転車を取り巻く環境より、自転車の利用実態から、必ずしも日常的な利用は多くないことが示された。しかし、既存のサイクリングコースは複数かつ広域的に指定されていることから、今回は、周辺自治体と一体となって主要観光地間を周遊可能で、気軽にサイクリングができる環境整備を進めることが地域の活性化に繋がるものと判断する。これらを踏まえ、サイクリングコースを整備していくための目標（方針）を以下に示す。

- ・ 安全で快適な自転車通行環境の整備
- ・ 既存サイクリングコースを活用したサイクルツーリズム推進による地域活性化と魅力向上

3.2 基本方針

上記の目標を達成するための方針を以下に示す。

- ・ 安全で快適な自転車通行空間の整備
- ・ 近隣市町と一体的となったネットワーク整備
- ・ サイクリストのニーズや近隣市町の整備状況を踏まえた段階的な計画策定及び段階的な整備
- ・ 自転車は原則車道を通行する法律の順守

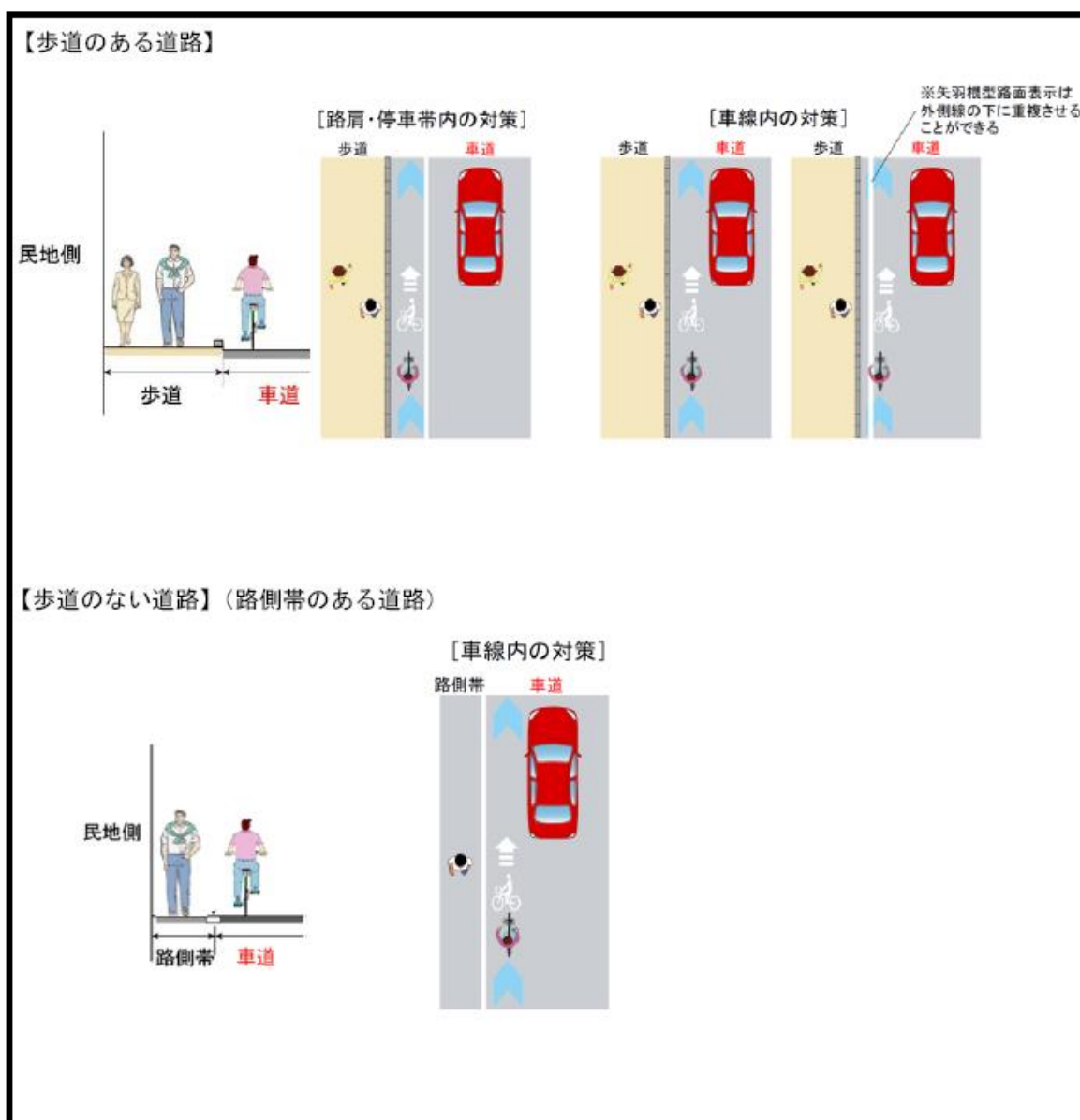
第4章 整備形態

4.1 整備形態方針

本計画で設定したサイクリングコースは既に利用されている道路であり、自転車通行空間の広がりを重視し、整備に時間を要する大規模な道路工事を行わずにできる整備形態である「車道混在型（矢羽根の設置）」とすることで安全で快適な自転車通行空間の確保を行うこととする。なお、車道混在型については「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン 平成28年7月」に準じて整備を行う方針とする。

4.2 車道混在型について

車道混在型は矢羽根型路面標示を行うことを示す。矢羽根型路面標示は、車道に自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し、自転車通行空間の確保をすることを目的とする。



出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン 平成28年7月 p. II-19

図 4.2.1 矢羽根型路面標示の概要

車道混在型を採用する場合、1.0m以上の幅員を外側線の外側に確保することとし、舗装部分の幅員は側溝の蓋を除いて確保することが望ましい。路面標示の標準仕様を下記に示す。

	形状	配置	
		歩道あり	歩道なし
仕様(案)	<p><標準形></p>		
備考	<p>※1: 自転車は、車道や自転車道の中央から左の部分を、その左端に沿って通行することが原則である。このため、路面表示の幅員は、標準仕様を用いない場合でも、この原則を逸脱しない範囲で適切な形状を設定するとともに、自転車通行空間として必要な幅員を自転車と自動車の両方に認識させることが重要である。</p> <p>※2: 矢羽根型路面表示の設置間隔は10mを標準とし、交差点部等の自動車と自転車の交錯の機会が多い区間や、事故多発地点等では設置間隔を密にする。</p> <p>※3: 路面表示の幅員は、側溝の部分を除いて確保することが望ましい。</p> <p>※4: 現地の交通状況に応じて、0.75m以上とすることもできる。</p>		

出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン 平成28年7月 p. II-7

図 4.2.2 矢羽根型路面標示の標準仕様(案)

第5章 自転車ネットワーク計画路線の設定

御宿町のサイクリングコースに該当する道路状況を下記に示す。

表 5.1 御宿町 道路状況一覧

No	路線名	制限速度	位置付ける延長	現況幅員構成 路肩/車線/路肩	改良計画の有無	整備形態	コース名
①	国道 128 号	50km/h	L=3.9km	600、2@3,000、600		矢羽根型	太平洋岸自転車道
②	町道 0201 号線	30・40 km/h	L=3.4km	500、2@4,000、500	無	矢羽根型	海と森林の パノラマコース
③	町道 0102 号線	30km/h	L=1.2km	500、2@3,000、500	無	矢羽根型	
④	県道御宿停車場線	30km/h	L=0.4km	500、2@3,000、500	無	矢羽根型	
⑤	国道 128 号	50km/h	L=1.4km	800、2@2,800、800	無	矢羽根型	

注) 制限速度は平成 27 年交通センサスより設定しているため、町道は空欄としている。

御宿町自転車ネットワーク路線道路幅員

